

特集3 各地域団体で取組まれている事例(新規掲載事例)の紹介

(地域の防災力を高めるモデルー1)

これは画期的！関西地域発信「未来のゲリラ豪雨予報」 (株式会社エムティーアイ)

【事業概要】

本事業の実施主体となる、(株)エムティーアイは、天気・地図ナビ情報の総合サイト「ライフレンジャー」を運営しており、その有料会員数は100万人を超えてます。今回は、ゲリラ豪雨に特化したアプリ開発を行い、無料で関西地域の方々に使っていただく取り組みを紹介させていただきます。

ゲリラ豪雨の被害を減らすため、国立研究開発法人情報通信研究機構（以下、NICT）が開発した世界最先端の「フェーズドアレイ気象レーダー」の観測データを活用させて頂くことになり、2015年にNICTとの共同研究として「3D雨雲ウォッチ～フェーズドアレイレーダ～」アプリを開発し、関西地域限定での実証実験に取り組んで2017で3年目になります。このアプリでは、今までゲリラ豪雨をもたらす積乱雲の全貌を捉えるのに5分かかっていたところを30秒で観測できるデータを利用するため、いち早くユーザーに豪雨の危険を通知することができます。さらに、WebGLの技術を使って、日本で初めてスマートフォン上でリアルタイムに雨雲を3次元描画することに成功したため、ゲリラ豪雨に危機感を持っていただき、豪雨からの回避行動のきっかけになると考えています。

【コラム】

① サービスイメージやシステム構成



② 事業展開による効果・成果

[成果1] ゲリラ豪雨の卵となる雨雲をいち早く検知

アプリ上で、従来のレーダーの1／10の時間で、視覚的に捉えられるようになりました。

[成果2] 精度の高いPUSH通知を配信

80%以上の的中率（吹田83%、神戸80.8%）と、高い的中率となりました。

[成果3] ゲリラ豪雨による毎年の被害額に対して、3D雨雲ウォッチユーザーの約600人分の被害額削減に貢献している。

[成果4] 3D雨雲ウォッチの利用者1万人以上、多数メディアにも掲載

[成果5] 2015年から関西地域のモニター数1000人以上の協力を頂き、知見を蓄積

[成果6] ゲリラ豪雨から身を守るための無料イベント開催

関西で合計4回実施し、お台場の日本科学未来館では2日で来場者数約1300人をこえ、イベント体験満足度を100%得られた。関西でのこの最先端の取り組みを、関東にも展開してほしいという声を多く頂いた。

③ 事業展開のポイントや今後の展開

NICTとの共同研究は、平成30年まで継続します。さらに、いち早くゲリラ豪雨を予報するためにも、他機関との横展開を実現し、2017年はNICTとは別の国の研究機関との共同研究を開始する予定であります。また、新たな取り組みとして、BtoB企業にこの3D雨雲ウォッちを活用頂くための取り組みも進めてまいります。

〔サービス利用者の声〕

2016年のモニター調査結果では、PUSH通知のユーザーハズレ感は15%以下に抑えることができました。また、既存の天気予報にある2Dの雨雲レーダと比較して、3Dによる雨雲描画の方がゲリラ豪雨の危機感を感じられた人の割合が63.8%となり、実際に回避行動に役立つ事ができた人は56%の割合となりました。なお、関西以外の地域でも、活用できるようにしてほしいといった要望も多く頂くことができました。これまで2年間でいただいたご意見を参考に、サービス品質の向上に努めてまいります。

〔問い合わせ先〕

▼報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ 広報室

TEL：03-5333-6323 FAX：03-3320-0189

e-mail：mtipr@mti.co.jp URL：<http://www.mti.co.jp>

▼一般のお客様からのお問い合わせ先

e-mail：life-ranger-pawr@cc.mti.co.jp